



森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」

～初の国産11トン機関車は今日も森を駆け抜ける～



「雨宮21号」は東京・雨宮製作所で製造された初の国産11トン機関車。1928（昭和3）年、丸瀬布―武利意森林鉄道に配属され、国有林から伐り出した丸太や生活物資の搬送に携わってきたが1958（昭和33）年に廃止。地元の強い要望で1976（昭和51）年、北見営林局から旧丸瀬布町に譲渡され、町は“森林公園いこいの森”を建設、機関車を走らせた。森林鉄道蒸気機関車の動態保存は全国で唯一のもの。